

情報発信手段としてブログ等の授業への導入を考える

高等学校

(情報)

研究の概要

この研究は、ウェブブラウザを用いて編集可能なウェブページ作成ソフトウェアであるブログとwikiを取り上げたものである。情報発信手段の教材としてそれらのソフトウェアを使用する方法と、使用した効果について授業実践を通して考察した。

【キーワード】情報発信, ウェブページ, ブログ, wiki, ウィキ

1 はじめに

普通教科「情報」の目標は、情報化の進展を背景にこれからの社会に生きる生徒に、日常生活において情報手段を適切に活用し、主体的に情報を選択・処理・発信できる能力を育成することである。

普通教科「情報」の各科目のうち、本校では1学年において全員が情報機器を活用して情報を選択・処理・発信できる基礎的な技能の育成に重点を置く「情報A」を履修している。文書による情報発信についてワードプロセッサやスプレッドシートソフトを用いて文書を作成することで行い、プレゼンテーションについてはスライド作成ソフトを用いてスライドショーを作成することで行っている。ネットワークを利用した不特定多数に対する情報発信については、ウェブページを作成することで行っている。

現代の生活においてウェブの隆盛は改めて述べるまでもない。そのためウェブページ作成による情報の発信は重要であると考えている。そのウェブページの作成は、ウェブの原理の理解と作成ソフトの操作方法に時間を割きたくないために、エディタを用いてHTMLのタグを記述することで行う。完成させたウェブページは校内ウェブサーバにアップロードすることにより校内に公開し、クラス内で相互に評価させている。

2 研究主題設定の理由と内容

(1) 研究主題設定の理由

前述のとおり、静的なウェブページを作成することでネットワークを用いた情報発信の技能育成を行っていたが、いくつかの問題と疑問が生じた。

ひとつは、サーバへのアップロードについてである。サーバへのウェブページのアップロードはFTPを用いて行うのが普通である。本校では使いやすいフリーソフトウェアであるFFFTPを用いていたが、平成19年度の機器更新によってインストールできなくなってしまった。Windowsに標準で備わっているFTPは使用できるが極めて使いにくく、GUIに慣れた生徒にCUIのソフトを使用させるには、その習熟のための時間も使わなくてはならない。

いまひとつは、静的なウェブページ作成に対する疑問である。実際に自身のウェブサイトを、ウェブページ作成ソフトなどを用いて作ったという生徒の話は聞いたことがなかった。ウェブページ作成ソフトを使うにしてもその使用方法を学ばなくてはならず、ファイル転送にもFTP

ソフトウェアを使わなくてはならないからではないだろうか。

しかし、このごろは有名ブロガーの存在や炎上等が一般メディアにも載ることがあるくらいブログやプロフが身近なものになっている。また、簡単な情報収集の機会にウィキペディア⁽¹⁾を利用することも珍しいことではなくなっている。これらはH T T Pによって動的に作成や更新が行えるウェブページである。したがってウェブブラウザが利用できれば、コンピュータでなくとも携帯電話からであろうと作成や更新が行える。ところがそれらの動的なウェブページによる情報発信手段は教科書では簡単にしか触れられていない。そのため、ブログやプロフを通じての個人情報の漏洩や倫理観の欠けた内容に対する指導の機会もない。

より実践的で生徒に身近な情報発信と考えられるそれらの手段を教材として取り上げ、その長所短所について考え、より適切な情報発信方法の指導をしたいと思い主題とした。

(2) 研究の内容

- ア 授業で使う上で使いやすいブログやw i k iのサーバソフトウェアを選定する。
- イ 現在の生徒のWWWでの情報発信の実態と意識の調査をする。
- ウ 教材としてのブログやw i k iの評価をする。
- エ 授業を通して生徒の意識の変化を調査する。

3 サーバソフトウェアの選定

(1) 研究環境の構築

本校のウェブサーバに直接研究環境を構築しては、何かあった場合授業等に影響が出るので別にもう一台研究用のサーバを稼働させることにした。そのサーバソフトウェアは将来、本校のウェブサーバで稼働させるので同じOSを使うことが望ましい。本校のウェブサーバのOSはL i n u xをカーネルに使った市販のU n i xライクなOSであるが、OSは購入しがたいので、研究用サーバのOSには自分が使いなれたF r e e B S Dを使うことにした。

研究用のサーバは次のような仕様である。

OS : F r e e B S D 6 . 3 p 3
ウェブサーバ : a p a c h e 2 . 2 . 9
言語ソフトウェア : p e r l 5 . 8 . 8 p h p 4 . 4 . 8 p y t h o n 2 . 5 . 1
以後、このサーバをw w w 2と呼称する。

(2) ブログソフトウェアの選定

レンタルではなく、サーバにインストールするタイプのソフトウェアでも表1のようなものが簡単に検索できる。

現在日本で最も普及している高機能なブログソフトウェアはM o v a b l e T y p eであるが、学校での使用においても有償であり、かなりの高額になるようである。W o r d P r e s sは世界的に最近急激に使用されることが多くなったブログソフトウェアである。ライセンスがG P Lであり、日本でのユーザグループの活動も活発なようなので使用にも問題がなさそうであるが、データベースとしてM y S Q Lが必要である。これはN u c l e u sについても同じことが言える。データベースを使用するソフトウェアは動作速度が速く、ページ管理もしっかりしているが、データベースの設定やその動作に敷居が高い。そのためデータベース不要のシステムから選択することになる。L i l yは使用言語がr u b yなので、それがインスト

ールされていない本校のサーバでは動作させられない。

ソフトウェア	ライセンス	データベース	使用言語	特徴
Movable Type ⁽²⁾	個人：無償 その他：有償	要	perl	日本で最も普及している 静的なデータ生成
WordPress ⁽³⁾	GPL ⁽⁸⁾	要	php	動的なデータ生成
Nucleus ⁽⁴⁾	GPL	要	php	動的なデータ生成
blosxom ⁽⁵⁾	BSD ⁽⁹⁾	不要	perl	プラグインで機能を拡大
BlognPlus ⁽⁶⁾	非商用：無償 商用：有償	不要	php	日本で開発されている
Lily ⁽⁷⁾	GPL	不要	ruby	日本で開発されている

表1 ブログソフトウェアの例

blosxomはライセンスがBSDスタイルで、perlで作成されているので問題なく本校のサーバで実行できる。データベースも不要であるし、設定が簡単であると宣伝されている。しかしperlやrubyで作成されたソフトウェアはサーバ上ではCGIとして実行されるので、実行属性を設定する必要がある。その分転送と設定に手間がかかることになるので、文書と同じ読み取り属性で実行できるphpで作成されたソフトウェアを使用したい。phpで作成されていてデータベース不要のブログソフトウェアとしてBlognPlusがある。

BlognPlusは明示的に学校などの教育機関での使用は無償であるとうたっており、開発が日本で行われているため、設定などの疑問点があっても安心である。今回はBlognPlusを選定することにして、www2に生徒一人一人のホームディレクトリを作成し、インストールした。



図1 BlognPlus

ライセンス体系	内容
BSDスタイル ライセンス	著作権の表示，無保証であることの免責事項とそれらのリストの表示をソフトウェアの改変と再頒布の条件とする。以上の条件を守れば，商用非商用を問わずソースコードを改変して使用してかまわない。また改変したソースコードを公開する必要もない。
GPL	ソフトウェアのソースコードへアクセスする権利，改変する権利，再頒布する権利を保障することをソフトウェアの改変と再頒布の条件とする。改変を受けて再頒布されるソフトウェアにもその権利が守られなければならない。商用非商用を問わずソースコードを改変して使用してかまわないが，改変したソースコードを公開する必要がある。

表2 ライセンス体系

プロフについてはサーバにインストールするタイプのソフトウェアを検索したが、発見できなかったためインストールしたソフトウェアはない。

(2) wikiソフトウェアの選定

ソフトウェア	ライセンス	データベース	使用言語	特徴
yukiwiki ⁽¹⁰⁾	GPL	不要	perl	日本で開発された
pukiwiki ⁽¹¹⁾	GPL	不要	php	上記の物をphpに移植
MoinMoin ⁽¹²⁾	GPL	不要	Python	欧米の各種オープンソースプロジェクトで使われている

表3 wikiソフトウェアの例

数多くのソフトウェアが存在するが、日本でよく知られている代表的なソフトウェアは表3のものである。

どのソフトウェアもGPLであり、データベースを必要とするものはない。phpで動作するソフトウェアはパーミッションの設定が比較的楽なので、www2にはpukiwikiを選択してインストールした。生徒一人一人のホームディレクトリに個人練習用のものを、ルートディレクトリに全員で作成する「原高辞典」用のものをインストールした。



図2 pukiwiki

4 現在の生徒のWWWでの情報発信の実態

「情報A」を履修している1年生126人に対して平成20年9月に以下のアンケートを実施した。2学期の授業からネットを利用した情報の収集及び情報発信について学ぶので、それ以前の意識と実態の調査のためである。

(1) 実施したアンケートと回答状況

性別 1男 69 2女 57

自分のWWWページについて

あなたはインターネット上に自分のWWWページ(ホームページ、ブログ、プロフ等を含みます。以下同じ。)を持っていますか。

1はい 40 2いいえ 86

1 はいと答えた方は から の設問に，2 いいえと答えた方は の設問に教えてください。
あなたのWWWページはどのような形態ですか。

1 ホームページ作成ソフト等で作ったページ	1 1
2 ブログ	7
3 プロフ	3 3
4 w i k i	0

(複数の形態のページを持つ者が数人いるため合計は40を超える)

あなたのWWWページにはあなた自身の本名(姓だけ，名前だけでも含みます)を掲載していますか。

1 はい 2 3 2 いいえ 1 7

あなたのWWWページにはあなたの知人の本名(姓だけ，名前だけでも含みます)を掲載していますか。

1 はい 2 5 2 いいえ 1 5

あなたのWWWページにはあなた自身の写真(顔がはっきりわかるもの)を掲載していますか。

1 はい 1 5 2 いいえ 2 5

あなたのWWWページにはあなたの知人の写真(顔がはっきりわかるもの)を掲載していますか。

1 はい 1 4 2 いいえ 2 6

で2 いいえと答えた方に伺います

あなたはインターネット上に自分のWWWページを作りたいと考えていますか。

1 はい 8 2 いいえ 7 8

で1と答えた方だけに伺います。あなたの作りたいWWWページはどのような形態ですか。

1 ホームページ作成ソフト等で作ったページ	1
2 ブログ	3
3 プロフ	3
4 w i k i	0

(無答1)

ウィキメディアプロジェクトについて

ウィキペディアWikipediaやウィクショナリWiktionary等(ウィキメディアのプロジェクト)を使って何かを調べたことがありますか。

1 はい 3 2 2 いいえ 6 8 (無答26)

ウィキペディアWikipediaやウィクショナリWiktionary等は，内容が正しいかどうかを誰も保証していないということを知っていますか。

1 はい 2 1 2 いいえ 7 9 (無答26)

ア - ウェブページを持っている生徒について

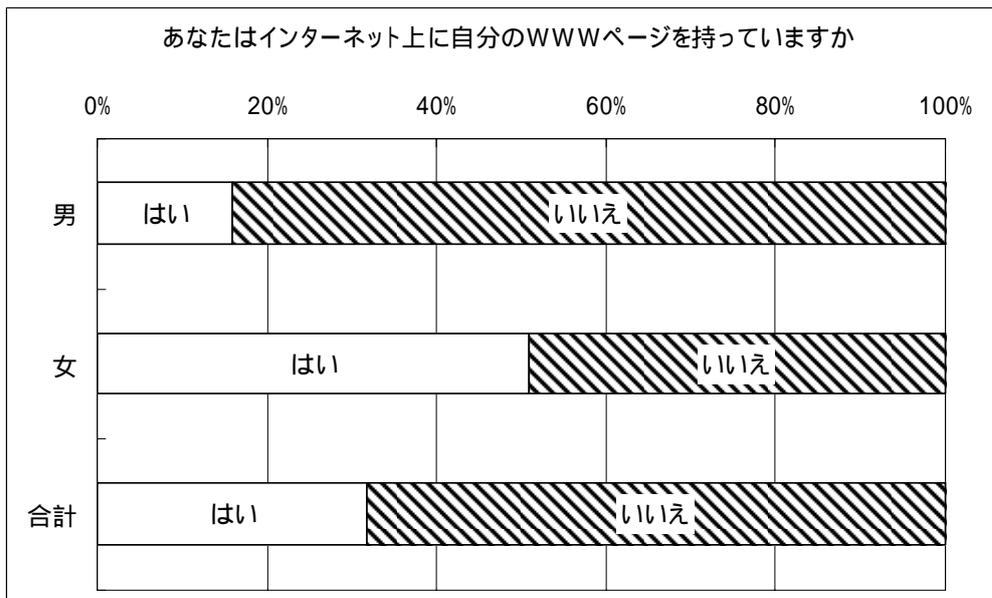


図3 ウェブページを持っている生徒

32%の生徒が自分のウェブページを持っていると回答している。ほぼ3人に1人の割合であるが、性別による差が著しい。男子は16%と5人に一人未満なのに対して、女子は51%と半数強である。この後の設問でも女子の積極的な情報の発信についての姿勢がみられる。ウェブページを持つことはそれほど稀なことではなく、特に女子では普通のことであることが分る。

それらの形態については、プロフが半数以上を占めているのがわかる。意外であったのは

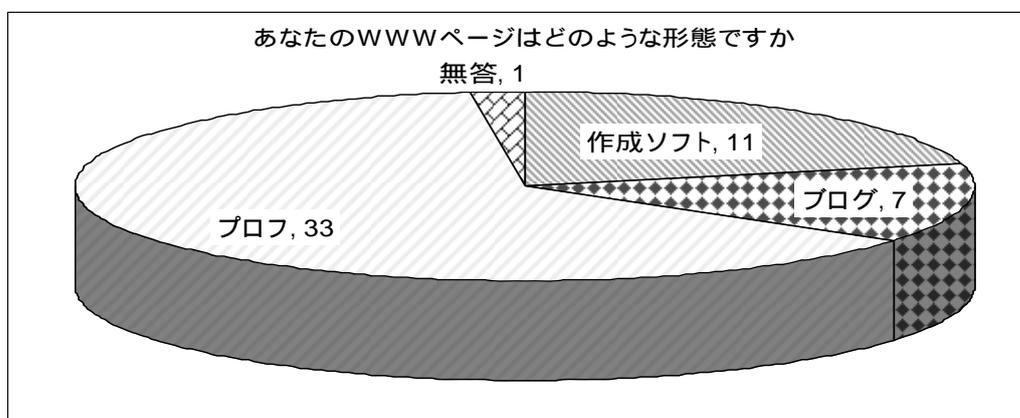


図4 ウェブページの形態

ホームページ作成ソフトを用いてウェブページを作成していた者が多かった事とブログが少なかった事である。ホームページ作成ソフトを用いたページを持っている生徒は女子だけで、プロフも持っている傾向が強かった。wikiについては全く使われておらず、知られていないと思われる。

イ - 個人情報の取り扱いについて

男女ともにほぼ半数の者が本名をウェブページに掲載していた。自分自身のものも知人のものもほぼ変わらない割合なので個人情報としての重要性があまり認識されていないようである。人物の写真に関しては男女ではっきりと傾向に差がみられた。個人情報に関するこ

という認識がどこまであるのかわからないが、男子より女子のほうが写真を掲載することに積極的、あるいは無頓着である。

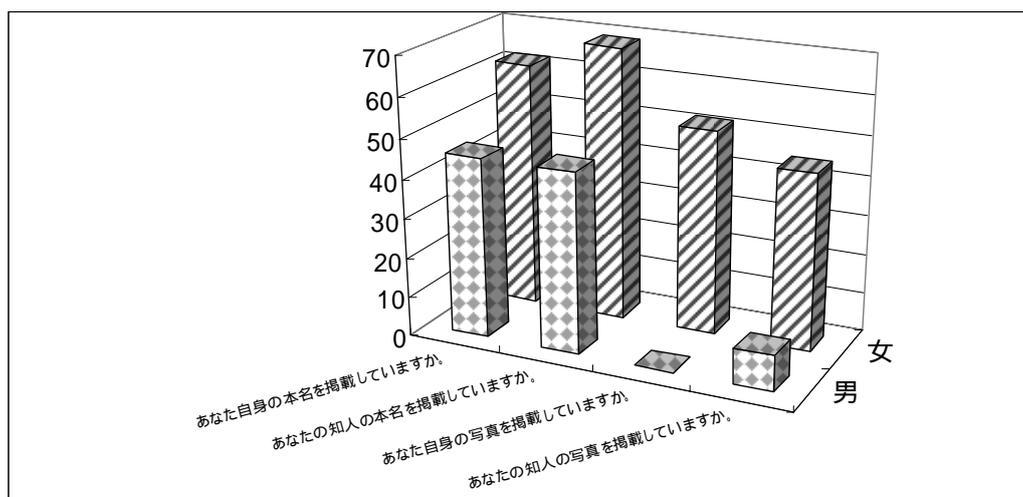


図5 個人情報の掲載

ウ - 将来ウェブページを持ちたい生徒について

現在ウェブページを持っていないが将来は持ちたいと考えている生徒は、男子については1割に満たず、女子で約2割である。ここでも女子の情報発信の積極性がうかがわれるが、数としてはかなり少ない。ウェブページを持ちたい生徒はほぼ高校1年生になるまでに持っていて、それまでに持っていない生徒というのはその後も持ちたいとは考えないのだろうか。そうだとすると、個人情報の保護や著作権といった教科「情報」のネットワーク社会に対する教育内容は高校生に対してでは遅いということにならないだろうか。

エ - ウィキメディアプロジェクトについて

ほぼ4分の1の生徒がウィキメディアプロジェクトを使って調べ物をしたことがあることがわかる。しかしウィキメディアの特徴について知っているのかいないのかこのアンケートではよくわからない。 - や - の回答でwikiを使ったページが皆無であることを考えると、むしろ誰もが編集できるという特徴をもったwikiそのものが知られていないようである。

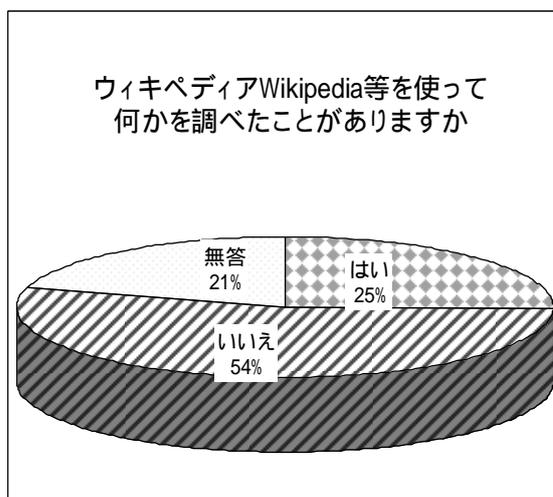


図6 ウィキメディアの利用

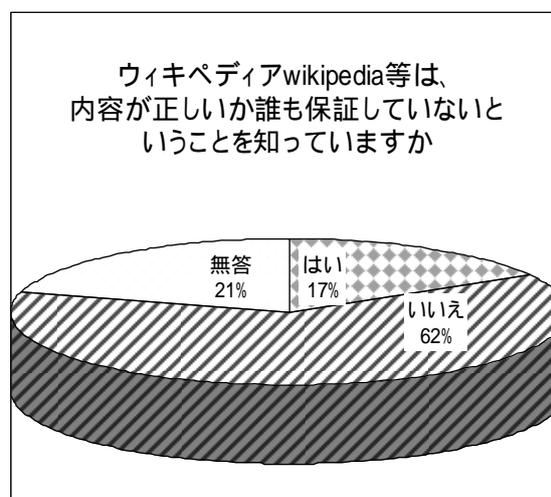


図7 ウィキメディアについての知識

(2) アンケートを通して

アンケートを通してブログとwikiを教材として使うことについて気のついた点を2点挙げる。

一つは、やはりプロフの普及である。男女ともにウェブページを持っている生徒の8割以上がプロフである。また思ったよりブログが使われていなかったことが意外であった。残念ながらプロフを校内のサーバで実行できるソフトウェアが見つからないので教材として使うことが今のところできない。

もう一つは、wikiがあまりにも知られていないということである。無関心とっていいかもしれない。当初はブログを中心に授業への導入を考えていたが、ウィキメディアプロジェクトの利用法とともにwikiの特徴を体験させることは、場合によってはブログによる情報発信より重要になるのではないかと考えるようになった。

アンケートは前述のとおり、ネットを利用した情報の収集及び情報発信や個人情報の保護などについて学ぶ以前に実施したものである。そのため個人情報の流出にとっても無頓着であった。授業では、写真などの情報が一度ネットに流出してしまうと回収が不可能なこと、断片的な情報からの個人の特定が可能なことについて具体例をあげて、特に強調して指導した。

5 教材としてのブログとwiki

前述のとおりライセンスの条件およびソフトウェアの条件からブログとしてBlognPlus, wikiとしてはpukiwikiをwww2にインストールして、本校3年生が選択履修する「情報と表現」において「第3章 情報発信の基礎」の中のネットワークを活用した情報発信の教材として授業を行った。

(1) BlognPlusを使用した日記ページの作成

次のような指導計画で日記ページを作成した。ブログなので他の生徒の作成したページに積極的にコメントを書くように指示した。

BlognPlusの設定(1時間)

日記の作成(4時間)

ブログの評価と感想(1時間)

ア BlognPlusの設定

BlognPlusは使用する前に個人の設定を行わなくてはならない。管理者のページの名前やパスワードの設定などを行うのに時間がとられてしまった。比較的簡単な設定で済むのだが、39人全員に行わせるのは結構な負担であった。

設定は1時間の予定であったが、実際には2時間を必要としたのでブログの評価と感想が行えなかった。

イ 日記の作成

日記を書き、コメントもできるだけ全員に対して書くように指示した。しかしいきなり日記を書ける者ばかりではないので苦労したようだ。ただ文があるだけといった者もいた。また、全く交遊がない者にコメントを書くのも気が引けるので活発にコメントを書くことはできなかったようである。一つの教室で作成しコメントしているので、自然に炎上するような日記の内容やコメントが書かれることはなかった。しかし一つ一つのコメントを見ると、こ

れが顔見知りでない他人に対して書かれていたらどうなっているだろうかと思われるものも
あった。

The screenshot shows a blog interface for 'Crona★Blog'. The main content is a diary entry for 2009.01.26 (Monday) titled '今日は凄くいい天気(*^^*)' (Today is really good weather). The entry describes a day of rain and a visit to a friend's house. The comments section shows a user named 'ryu' commenting on the diary. The page also features a calendar, new entries, categories, and a sidebar with navigation links.

図 8 日記

The screenshot shows a blog interface for a diary entry on 2009.01.23 (Friday) titled '雨' (Rain). The entry describes a day of rain and a visit to a friend's house. The comments section shows a user named 'ryu' commenting on the diary. The page also features a calendar, new entries, categories, and a sidebar with navigation links.

図 9 日記に対するコメント

(2) wikiの使用と「原高辞典」の作成

次のような指導計画のもとにwikiを使った情報発信の授業を行った。wikiを使った事典類の特性を理解するために、本校を中学生や新入生に紹介するための辞典を作成することにした。

メモ帳を使ったウェブページの作成 (2時間)

wikiを使った動的なウェブページの作成の基礎 (2時間)

「原高辞典」の作成 (3時間)

「原高辞典」の評価と修正 (1時間)

ア メモ帳を使ったウェブページの作成

ウェブページの原理と作り方を復習するためにメモ帳を使って簡単なウェブページを作成し、www2上にアップロードした。タイトルと本文が1行の様な簡単なページにも関わらずタグをたくさん書かなくてはならず、さらに多数の人間にそのページを見せるためにはサーバにアップロードしなくてはならない手間を実感したと思う。ウィンドウズのFTPを用いてアップロードしたので、うまくアップロードできなかった生徒もいた。

イ wikiを使った動的なウェブページの作成の基礎

いきなり辞典を作成できないので、基本的なwikiの使い方を説明して簡単なウェブページを作成した。メモ帳を使った時と比べて特に次の点を強調した。

- ・タグよりも簡単なキーワードで画面の編集ができること
- ・ブラウザを使ってサーバ上のページを直接操作できること
- ・パスワードを設定しなければページの操作は誰にでも出来ること
- ・操作されたページを簡単に元に戻せること



図10 wikiで作ったウェブページ

最後の2点については2時間の授業時間のうち、1時間目に作成していたページを2時間目までに教師が削除しておいて生徒に復元させることで行った。差分、バックアップが自動的にとれるwikiの特性に軽い驚きを感じた生徒もいたようである。しかし、行ごとの差分表示や復元の方法に煩わしさを感じた生徒も多かったように思う。また、1度きりの復元では深い印象を残せたとは思えない。複数回削除するだけでなく他人のページを編集して、改竄や編集合戦⁽¹³⁾のシミュレートを試してみるのも良かったかもしれない。

Wikipedia:編集合戦

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

編集合戦(へんしゅうがっせん、Edit war)とは、2人またはそれ以上の執筆者が他の人が行った編集の一部または全部の差し戻しを繰り返すことです。



練習のバックアップの現在との差分(No.2)

[トップ] [新規] [一覧] [単語検索] [最終更新] [ヘルプ]

- バックアップ一覧
- 差分を表示
- ソースを表示
- バックアップを表示
- 練習へ行く。
 - 1 (2008-11-21 (金) 18:20:21)
 - 2 (2008-12-01 (月) 14:40:30)
 - 3 (2008-12-01 (月) 17:56:06)

- 追加された行はこの色です。
- 削除された行はこの色です。

```
*まあこのページ [#i7134262]
私のページはいかが？

#ref(CUTS_050.GIF)
私の&size(20){&color(yellow,black){ページ};はいかが？

//メモを残す
**スポーツテストの案内 [#y181288b]

[[体力診断テスト]]

[[運動能力テスト]]
```

図11 バックアップと差分表示

ウ 「^{はらこう}原高辞典」の作成

wikiの使い方がわかったところで、生徒39人を2人または3人のグループに分けた。五十音順の項目を各グループで重複しないようにしてページを作成した。作成にあたってトップページにあるように、丁寧な言葉を使う、誹謗、中傷はしない、個人名は出さないことの他に画像を必ず入れる、文字の飾り付けを2つ以上使う、1項目は1ページで作成するという条件にした。オリジナルのコンテンツの作成に関しては苦手と思う生徒が多

いようであったが、本校の特徴をとらえた項目を選びだせたようである。wikiの特徴を生かしてウェブ上で複数人が編集してほしいと思ってグループでの作成を行ったが、こちらの意に反して席を移動して相談してから一つのブラウザから作成していた。



FrontPage

http://172.16.0.4/pukiwiki/index.php?FrontPage

[トップ] [編集 | 凍結 | 差分 | バックアップ | 添付 | リロード] [新規 | 一覧 | 単語検索 | 最終更新 | ヘルプ]

原高辞典索引

ア〜コ

原高辞典⁺

サ〜ト

生徒が作る大原高校の辞典です。
 新入生や中学生にわかりやすく大原高校を紹介するために

ナ〜ホ

- 丁寧な言葉をつかう
- 誹謗、中傷はしない
- 個人名は出さない
 ことを守って書きましょう。

マ〜ワ

既存のページを変更した人は編集や変更した理由をコメントに残しておきましょう。

検索

検索

AND検索 OR検索

ア〜コ	赤点	潮祭	漢字テスト	教頭	校長
サ〜ト	修学旅行	生徒会長	卒業式	たち番	
ナ〜ホ	入学式	原高	部活	ホッケー場	ポニーさん
マ〜ワ	マリン実習	モスバーガー	野球場	ワープロ検定	

図 1 2 「原高辞典」トップページ



潮祭

http://172.16.0.4/pukiwiki/index.php?%C4%AC%BA%D7

[トップ] [編集 | 凍結 | 差分 | バックアップ | 添付 | リロード] [新規 | 一覧 | 単語検索 | 最終更新 | ヘルプ]

原高辞典索引

ア〜コ

潮祭⁺

サ〜ト

ナ〜ホ

マ〜ワ

大原高校の中で最も盛り上がる行事の一つであり、一般公開されている。
 生徒や先生、また一般の人や保護者の方などにも慕われている。
 みんなとワイワイ楽しくできる行事は潮祭だけだと僕は思う。

検索

検索

AND検索 OR検索

最新の20件

- 2009-01-09
- マリン実習
- たち番
- 2008-12-15
- 潮祭
- ポニーさん
- FrontPage
- 修学旅行
- 卒業式

ちなみに、平成20年度の3年B組は、

カレーを350食を売り上げた。



図 1 3 原高辞典「潮祭」

エ 「原高辞典」の評価と修正

辞典を作成し終わった段階で、自分の作成したページの良かった点と直したほうが良い点、「原高辞典」の中で良いと思ったページとその理由、今回の「原高辞典」作成をしてみてもウィキペディアについてどのように感じ方が変わったか、「原高辞典」作成についての感想をとった。

自分の作成したページの良かった点については、多くの生徒が「カラフルにできた」、
「短い文章で読みやすく出来た」ことを挙げていた。逆に直したほうが良い点については
「情報が少なすぎた」点を多くの者が挙げていた。最も良いと思うページは「^{うしほ}潮祭」「^{うしほ}ワープロ検定」を挙げる生徒が多かった。その理由として前者は色や画像が多くきれいで見やすかったことがあげられ、後者は表の使用と内容の詳しさを挙げていた。

評価が終わってから他人が書いた項目で自分が直せるところがあったら変更するように指示したが、変更しようとする者はいなかった。誰でも編集でき、管理者は復元できるwikiの特性を「原高辞典」上では実践できなかったことが残念であった。

オ ウィキペディアへの対応の変化

wikiを使って辞典を作成した後で尋ねたウィキペディアについての感想のいくつかを次に引用する。

生徒A「いろいろな人が勝手に編集することが可能だということを知りました。使い方を気をつけないと大変なことになると思いました。」

生徒B「wikipediaというものを初めて知りました。使ったこともなくて、使い方に迷ったけど使い方次第でいる 出来るんだと思いました。」

生徒C「たくさんの情報があってよかったと思ったけど、正しい情報ばかりではないのできちんとした情報を載せてほしいと思った。」

生徒D「いろいろ調べることができるのが分かりました。しかし、いろいろうそや、まちがった情報を伝えてしまうことがあるそうなので、あんまり信じれないかもしれません。でも、友達とあそびで見たりするならいいのではないかと思います。」

全体的に懐疑的にみる生徒と、とても便利でこれから頻繁に利用したいという生徒の両極端になっているようである。

6 課題

授業を行ってみると次のような課題が残された。

(1) プロフソフトウェア

アンケートでは、生徒にとってのウェブによる情報発信とはプロフとイコールといってよい結果であった。そのプロフを教材として取り上げることができなかったのが残念である。またもしサーバにインストールするタイプのプロフソフトウェアが存在したとしても、携帯電話でアクセスできるサーバでは「校内で安全に実験」というわけにはいかない。プロフに関しては、ブログやwikiのように実際にインターネット上で使われているものと同じソフトウェアを教材に用いるのではなく、携帯電話そのものをシミュレートすることも含めた教材が必要になるのではないだろうか。

(2) 指導方法

情報発信の教材としてとても有効だろうと考えられるソフトウェアであるが、自分にはできなかったことがいくつかある。次の様に指導方法を改善すればさらに役に立つと思われる。

ア ブログ

基本的に日記を書くソフトウェアであるが、どのようにして何を書かせるのが教員の指導力の見せ所ではないかと考えられる。生徒が積極的に文章を書けるような条件作りが行えるようにしたい。

今回は、ほとんどのコメントが表面的なものばかりで炎上は起きなかったが、炎上をシミュレートできていれば情報モラルの教材としても使用できるだろう。しかし、炎上やいじめは掲示板やネットニュースの方が実践しやすいかもしれない。

個人情報の保護や情報モラルについては「情報と表現」という科目の性格もあって、個人名は出さないこと以上には取り上げることはできなかった。

イ w i k i

本来w i k iはウェブ上での共同作業によるページ作成を狙ったソフトウェアである。使用方法習得のためにサーバ上の各自のホームディレクトリに個人のページを作成して練習したが、最後までウェブ上での共同作業に持っていくようには指導できなかった。作成するページの内容などを吟味してウェブ上の共同作業ができるようにしたい。

前述のとおり、w i k iのもう一つの特徴として編集の復元がしやすいというものがある。今回それを教師による文章の一部削除とその復元という形で行った。しかしこれでは改竄、編集合戦というウィキペディアの負の面に対する理解が不足してしまうのではないだろうか。これからは生徒による他の生徒のページの変更を何回か行わせてみようと考えている。それによって、ある大学での課題に対して学生の大部分がウィキペディアの同じページだけを参照していたためにレポートの大多数が同じ箇所を同じように間違えていた事件⁽¹⁴⁾や、ある高校生が他人に同じ内容のレポートを書かれないようにするためにウィキペディアのあるページを削除してしまった事件を防ぐことにつながるのではないかと考えている。

(3) ソフトウェアインストールの問題

ソフトウェアの選定に際してインストールが簡単なものにした。そのため個人が自分自身のためにそれらのソフトウェアをインストールすることはそれほど難しいことではない。しかし、生徒に教材として使わせようとする生徒人数分のインストールが必要になる。今回は、サーバへ生徒一人一人を登録して、そのホームディレクトリに2つのソフトウェアを置くことにした。ホームディレクトリの雛形に両ソフトウェアをコピーして置けば良いので簡単であるが、管理者権限で行わなければならない。個人的にホームディレクトリにC G I等を置いて実行することなどに慣れている人でも管理者権限を行使することには抵抗があることも多いであろう。逆に、生徒一人一人にF T Pでファイルを送らせ設定させる方法もある。しかしそれでは生徒にF T Pを使わずにウェブページを作らせたいという当初の目的から逸脱してしまい意味がないと考えられる。

7 まとめ

どの学校のサーバにもインストールできること、インストールが簡単であることを条件に選定した。ブログではBlognPlus, wikiではpukiwikiというソフトウェアが存在し、教材として実際に授業に使用できた。FTPを用いずにウェブページを校内に公開することが可能になった。

生徒にとって情報発信の道具としてはプロフが非常に身近な存在である。そして個人情報の取り扱いについては無頓着な者が多かった。ブログは閲覧することはしても、自分で使うことはあまり多くなかった。ウィキメディアを使ったことのある生徒は全体の4分の1程度で、それらの土台であるwikiはほとんどその存在を知られていなかった。ブログやwikiのページを作成することによって、情報発信の道具としてのそれらに対する理解がある程度できたと思う。特にwikiの編集はなかなか行うことができないことなので良い経験になったと思う。そして限定的ではあるが、ネット上の情報の信頼性について考えられるようになった。

前項で挙げた課題をできるだけ解決して、動的に作成できるウェブページを授業で実践していきたい。

8 参考

- (1) ウィキペディアメインページ <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

- (2) シックスアパート Movable Type <http://www.sixapart.jp/movabletype/>
Movable Typeはシックス・アパート社のCMS製品です

- (3) WordPress 日本語ローカルサイト <http://ja.wordpress.org/>

- (4) Nucleus CMS Japan <http://japan.nucleuscms.org/>

- (5) bloxom :: the zen of blogging <http://www.bloxom.com/>

- (6) BlognPlus (ぶろぐん+) 公式サイト <http://www.blogn.org/>

- (7) Lily - シンプルなサイト構築システム <http://lily.sourceforge.jp/>

- (8) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>

- (9) Open Source Initiative OSI - The BSD License:Licensing
<http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.php>

- (10) YukiWiki <http://www.hyuki.com/yukiwiki/>

- (11) PukiWiki FrontPage <http://pukiwiki.sourceforge.jp/>

(1 2) The MoinMoin Wiki Engine <http://moinmo.in/>

(1 3) Wikipedia:編集合戦

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B7%A8%E9%9B%86%E5%90%88%E6%88%A6>

(1 4) ニューヨークタイムズ 2 0 0 7 年 2 月 2 1 日 NOAM COHEN

A History Department Bans Citing Wikipedia as a Research Source

http://www.nytimes.com/2007/02/21/education/21wikipedia.html?_r=4&oref=slogin&oref=slogin